

第2回北海道電力七飯発電所の漏水に伴う現地営農支援対策本部会議 議事録

日時 令和5年(2023年)6月29日(金) 14:00~14:45

場所 七飯町文化センター スターホール

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

- 議題
- 1 現在の対応状況
 - 2 意見交換

議事 開会

- 北海道渡島総合振興局長
 - ・ 生産者の不安を軽減できるよう、引き続き北海道電力に必要な対応をお願いする。
 - ・ 道としても持続的な水の確保に向け、関係機関と連携を密にし、生産者への営農支援に取り組む。
- 北海道農政部活性化支援担当局長
 - ・ 6月26日時点で十分な量ではないが、関係者の尽力により通水の見通しが立ったと認識。
 - ・ 必要な対応は早急を実施し、水を確保することが重要。これまでの対応はあくまでも応急的な措置であり、今後、事故に至った経緯の検証を踏まえた中長期的な対応の検討が必要。

現在の対応状況

- 北海道電力株式会社函館水力センター 資料説明
 - ・ 七飯発電所のかんがい放流停止について、多大な迷惑や心配を掛けたことを改めてお詫び。
 - ・ 渡島平野土地改良区をはじめ、関係機関の協力を感謝。
 - ・ 大沼から流れてきている、発電所の調圧水槽の水を、増設したポンプで用水路に供給。
 - ・ 大野川の水をポンプアップし、これまで通水されなかった新はこだて北斗駅より北部の地区へ水を供給。
 - ・ 小沼等の水を給水車で用水路に供給しており、現在、13台の給水車が稼働中。
 - ・ 引き続き水が行き渡っているかの確認と併せ、関係機関の協力を得ながら、あらゆる手段を尽くして行きたい。
- 北海道渡島総合振興局建設管理部
 - ・ 取水を行っている道管理河川の水深の確認や水質調査を実施しており、今後も状況に応じて現地確認を継続。
- 渡島農業改良普及センター
 - ・ 関係者の皆様の御尽力により、十分ではないが、少しずつ水田に水が行き渡りつつある。
 - ・ 関係機関と情報共有を密にし、今後も農家の方に寄り添った適切な営農指導に務める。

- 北海道開発局函館開発建設部
 - ・ 引き続き職員を土地改良区へ派遣し、情報共有に努めている。
 - ・ 災害対策用機械の配水ポンプ車1台を、久根別川の第2分水地点にて24時間運転中。
 - ・ 新函館北斗駅の北側農地へ配水を可能とするべく、技術支援を行っている。
 - ・ 今後も土地改良区をはじめ、各機関としっかり情報共有しながら支援に努めてまいりたい。

意見交換

- 渡島平野土地改良区
 - ・ これまでの関係機関の協力に感謝。水は、一通り回ったとはいえ、技術職員が2名しかおらず、昼夜を問わず、日々番水等による調整をしている。この実態を皆さんに知ってほしい。組合員にはこの厳しい時を乗り越えていくため、節水をお願いしており、決して楽観的な状況ではない。
 - ・ 北電には、今以上の水の供給の増加をお願いするとともに、関係機関にも今以上の協力をお願い。
- 函館市
 - ・ 事態発生後、土地改良区の迅速な対応に感謝するとともに引き続き、用水確保に向け、万全の対策を取るようお願い。
 - ・ 来年は、安心して営農できる対策を講ずるようお願い。
- 北斗市
 - ・ 現在の応急措置と並行し、本格復旧に向けた対応も行っているものと思うが、来春5月に向けては、例年どおり水が供給されるのか、工事の見通しを教えてください。
 - ・ 取組状況について北電のホームページで公表され、専用窓口も開設していただいたが、農家の方からの問い合わせ件数や内容についてもこの場で共有すべきでは。
- 北海道電力株式会社函館水力センター
 - ・ 来年に向けては、新たな設備を設置する方向で検討。現地調査を完了したので、来年5月の通水に間に合わせたい。
 - ・ 問い合わせは、何件かきているが、具体的な内容や件数は後日、回答する。
- 七飯町
 - ・ 引き続き、湧水をポンプアップして用水路に流している。
- ホクレン農業協同組合函館支所
 - ・ 水田に水が行き渡っていないので、情報の共有とさらなる対策の積み増しをお願い。さらなる対策の見込みを示してほしい。
- 北海道農業協同組合中央会札幌支所
 - ・ 引き続き、万全の対応をお願い。
 - ・ 来年5月には、確実に通水していただきたい。

- 新函館農業協同組合
 - ・ 営農センターを中心に通水状況の調査を実施しているが、水が行き渡っていないところも数カ所確認しており、随時、情報共有する。
 - ・ 報道を耳にして、取引先から契約どおりに供給されるのか心配する声が届いている。
 - ・ これから深水管理の時期になるので、水量の確保をお願い。

- 函館市亀田農業協同組合
 - ・ 現在、一部のほ場に水が届いていない状況も見受けられる。
 - ・ 7月から一層水が必要になることから引き続き水の供給をお願い。

- 北海道農業共済組合道南支所
 - ・ 随時、現状を本所に報告。「農業経営収入保険」及び「農作物共済」の対応方針については、本所に確認中。

- 農政事務所函館地域拠点
 - ・ 現状や現地の要望を農水省の地方課災害総合対策室等に情報共有しており、今後、必要な支援に繋げていきたい。

質 疑

- 北斗市
 - ・ 水の供給量を増加させていくという話であるが、量を示して頂きたい。
 - ・ 水が行き渡っていない水田を把握し、情報を共有頂きたい。

- 北海道電力株式会社函館水力センター
 - ・ 給水量については、わかりやすく工夫し、後ほどお示しできれば。
 - ・ 通水されていない水田の情報については、改良区から指導いただきながら把握したい。

- 渡島平野土地改良区
 - ・ 時期によって、必要な水量は異なる。大事なのは、水田の状況に応じた通水であって、数字ばかり追いかけては困る。

閉 会

- 北海道渡島総合振興局長
 - ・ 本日の会議では、依然として厳しい状況にあるという意見を頂いた。きめ細やかな通水の確保など、状況に応じた取組を進めていくために、関係者の連携をより一層密にすることが重要。
 - ・ 北海道電力には、応急的な対策はもとより、来年の営農に向けた中長期的な対策についてもあらゆる手段を尽くして対応を願う。